

震災15年特別セミナー

高齢者施設の大規模災害対策

-東日本大震災被災地の施設支援の教訓から-

2011年3月11日東日本大震災が発生し、毎年研修で訪れていた岩手県沿岸の町が津波の被害に遭いました。私が長年関わっていた施設は、津波の被害は免れましたが、業務運営に支障をきたしており支援に向かうことになりました。施設では低栄養などの様々な問題に直面しており、現場の職員さんたちと相談しながら一つ一つ対策を講じました。この被災地施設の支援から、想定してなかった多くの課題を学びました。東日本大震災から15年を迎えるにあたり、本セミナーでは大規模災害で施設が直面する問題を考え、対策を検討したいと思います。

《1》東日本大震災の施設支援から

- 最重要課題は低栄養による褥瘡防止対策

《2》リスクシミュレーション

- 地域リスクの把握と個別リスクの評価

《3》震災発生時の損害軽減策

- 低栄養と褥瘡防止対策
- 津波からの避難対策
- ケア用品不足への対策など

《4》震災後の業務継続対策

- 広域の災害援助協定
- 福祉避難所指定への要員対策
- 最低必要電力と自家発電機の選定
- 嚥下困難者の栄養補助食品
- 酷暑期停電時の暑さ対策

《5》水害対策

- 水防法改正で避難計画策定が義務化
- 避難確保計画策定のためのリスクデータ

■垂直避難用階段搬送用具



■最重要対策は栄養管理

◎嚥下困難者の栄養補助食



どれが最も効果が高かったか？

無料オンラインセミナー開催要領

- 開催日時: 2026年3月23日 13:30~15:30
- 主催: 株式会社安全な介護
- 講師: 株式会社安全な介護 代表 山田滋
- 参加費: 無料
- 参加方法: Zoomによるオンライン(接続PCは3台まで)
- 申込方法: 下記URLからお申し込み下さい(3月16日締切)
<https://forms.gle/QpK8EiwovX69fzUY8>

お申込みいただいた方には、締め切り後に視聴用URLとテキストをメールで送付いたします。

講師プロフィール

山田 滋 大学卒業と同時に現あいおいニッセイ同和損害保険入社。2006年7月よりインターネット総研主席コンサルタント、2013年5月末あいおいニッセイ同和損害保険を退社。2014年4月より現職。高齢者施設や介護事業者と取り組み、現場で積み上げた実践に基づくリスクマネジメントの方法論は、「わかりやすく実践的」と好評。各種団体や施設の要請により年間150回のセミナーをこなす。

セミナーに関するお問い合わせは

株式会社安全な介護 セミナー事務局

mail:soudan@nanasha.co.jp